

4つのレベルに応じた 欠席対応チャート 河内長野市立千代田中学校

ねらい

- ① 欠席生徒に早期対応し、丁寧に関わることで長期化することを未然に防ぎます。
- ② 生徒が早期に学校復帰できるように、関係機関との連携体制づくりをおこないます。
- ③ 欠席状況の重篤度に応じた学校の対応について、あらかじめ生徒・保護者等に理解・協力を求めます。
- ④ 生徒の命を守ることを最優先に考えます。

レベル1 直近30日以内の欠席が5日に達した場合、または連続欠席が3日に達した場合

- ・当該生徒に関わる教員や生徒支援委員会が中心に対応します

◇生徒の表情 ◇生徒の生活リズム ◇生徒の友人関係 ◇登校への意欲
◇心身の状態 ◇家庭での様子 ◇校内適応指導教室（なごみ）登校の提示 など

*原則、同様の欠席が続く場合は、レベル2の対応を行うこととします。

レベル2 長期欠席（学期内で10日に達した場合、年間30日に達した場合）かつ、家庭との連絡が取れる状態

- ・生徒支援委員会や管理職が中心に対応します
- ・継続的な電話連絡、家庭訪問をし、学校とのつながりを切らない。
- ・校内の対策会議をスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーも参加し実施する。
- ・学校復帰を最終的なゴールとし、本人、保護者の意向を取り入れた登校の仕方（行事への参加の仕方も含め）を、スモールステップで提示する。

*この時点で、学校としては不登校生徒として支援していきます。

*原則、同様の欠席が続く場合は、レベル3の対応を行うこととします。

レベル3 長期欠席（学期内で10日以上、年間30日以上）かつ、家庭との連絡が困難な状態

- ・関係諸機関と連携して対応します
- ・長期的に連絡が取れない場合、学校には公的機関への通告義務があることを管理職が保護者に説明する機会を設ける。また、校内の対策会議を定例化し、目的意識を持った組織的対応をする。また、必要な場合は関係機関を含めた対策会議を実施する。

*原則、同様の欠席が続く場合は、レベル4の対応を行うこととします。

レベル4 年間の出席日数が10日以下かつ、家庭との連絡が困難な状態

- ・長期的に家庭との連絡が取れない場合は、関係諸機関に相談、あるいは通告する。
- ・学校だけでケースを抱えることなく、関係機関を含めたチームで対応する。

	担任	学年	生徒支援委員会	管理職	関係諸機関等
レベル1	○	○	○		
レベル2	○	○	○	(○)	
レベル3	○	○	○	○	(○)
レベル4	○	○	○	○	○